

広島別院だより

Vol.23
秋号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

秋彼岸会が勤まる

九月二十五日に秋彼岸会が勤められました。彼岸の中日が過ぎたとはいえ、蒸し暑さの残る中、大勢の方が参詣されました。

講師は北広島町の安本利生師（安芸北組・最勝寺住職）が勤められました。以下、法話の抄録です。

「ある住職がまだ大学を卒業して間もない頃、当時九十歳のご門徒に念仏の利益について教えられたことがあった。そのご門徒は念仏の教えを長年聞いて、三つの事がわかったそうである。一つは自分の居場所（五濁悪時悪世界の真只中にいたということ）、二つには自分の行き先（人は皆、浄土に還るとということ）、三つにはこの世で出会う人は皆、朋友である（誰もが必ず死ぬ身であるということ）、と教えられたそうである。

このご門徒の言われるように念仏の教えには自分の身の有り様や生き方を知らせる利益がある。また、静かに自分自身を振り返り、考えられるのは、今お寺参りしかないのではないか。

お彼岸は亡き人々を偲びながら、自分の生き方はこれでよいのだろうか、教えから生き方を問われる大切な仏事である」と、亡き人々の思い出やユーモアを交えながらの法話に、堂内は和やかな空気に包まれました。



講師：安本利生 師

真宗基礎講座が開講

十月六日、真宗基礎講座（全五回）が開講しました。九州大谷短期大学学長の三明智彰先生を講師に迎え、内容も新たに「親鸞の生き方にたずねて」と題し、親鸞聖人のご生涯を通して私たちの生き方を考えていく講座としてスタートしました。

当日は台風接近にもかかわらず、県内外から多くの方が受講されました。三明先生は「法話を聞いても心に何も残らないのは、自分の身に引き当てて聞いていないから。自分自身の課題や問題意識を持って聞けば、必ず教えは聞こえてくるもの」と、聞法の姿勢について話されました。

次回は十二月八日（土）に開催予定です。



講師：三明智彰 師

大谷大学仏教公開セミナー開催

八月三十日、広島別院で大谷大学仏教公開セミナーが開催され、「人が育つということー本願の教えに聞くー」というテーマで藤元雅文先生（大谷大学講師）が講義されました。

藤元師は親鸞聖人の言葉を引用しながら、人が育つということについて「人は人であるかぎり避けることのできない愚かさを持っている。しかし愚かさが見えなくなるのではなく、愚



講師：藤元雅文 師

かさを通してこそ本願（どんな私であっても決して見捨てないという阿彌陀仏の願い）に出遇っていきける。それが本願の教えに育てられていくということである」と話されました。

輪番着任挨拶

このたび、六月二十五日付をもちまして山陽教務所長並びに広島別院明信院輪番を拝命いたしました中根慶滋と申します。

もとより浅学菲才な若輩の身であります。微力ながら皆様のお力添えを賜り、広島別院が皆様の心の拠り所となり、ますます念仏の音が響きわたる聞法求道の場となれるよう精一杯尽くす所存でございますので、前任者同様、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中根慶滋輪番

広島別院団体参拝

左記の団体が団体参拝されました。お参りいただき、誠に有難うございました。

九月七日 桑名別院 様
十月三十一日 岐阜別院 様

お寺のハテナ？

お内仏の中に
入ってはいけないもの



お内仏(仏壇)の中に、真宗の教えにそぐわないものを入れてあることがあります。

〈浄土真宗以外の仏像〉

浄土真宗は南無阿彌陀仏を「本尊」とします。他宗の仏像、例えば、お釈迦様や観音さん、不動明王、水子地藏などの像はお内仏には入れません。「本尊(本当に尊いこと)がハッキリしないから、有り難ければ何でもいい」と、いろんな仏像を置くわけです。お内仏の中がゴチャゴチャしているのは、自分の心がいろんなものでゴッチャになった状態の表われです。ご本尊がハッキリすると、他の教えやモノを依りどころにする必要がなくなります。

〈故人の写真〉

故人の写真をお内仏の中に置くことで、故人と会える気持ちになるかもしれません。しかし、写真を置くことにより、礼拝の対象が阿彌陀如来から写真に変わってしまいます。ご本尊はあくまでも南無阿彌陀仏です。写真はお内仏の外に置きましょう。

法座・講座等のお知らせ

12月5日(水)・6日(木) 広島別院 報恩講

- 【講師】 藤浪 遊 先生 (京都教区 石東組 浄慶寺住職)
 - 【日程】 5日 14:00～速夜勤行(入楽※1)と法話
16:30～初夜勤行と御伝鈔の拝読
 - 6日 8:00～晨朝勤行と法話
10:00～日中勤行(入楽※1)と法話
- ※1 入楽とは雅楽演奏の入る法要です。

〈広島別院報恩講を上記のとおり厳修いたします。お誘いあわせのうえ、ご参詣ください〉

12月8日(土) 真宗基礎講座 -親鸞の生き方にたずねて-

- 【講師】 三明智彰 先生 (九州大谷短期大学学長)
- 【日程】 毎回 13:30～16:00 【参加費】 500 円
- 【会期】 2019年 2/16・4/13・6/29

〈親鸞聖人のご生涯をたずね、浄土真宗の教えの基礎を学ぶ講座です〉



注) 12月は報恩講と併修
2019年1月は休み

毎月5日 定例法話 (ご今日の集い)

- 【講師】 県内僧侶(月替わり) 【日程】 14:00～勤行と法話 (15:00 終了予定)
- 〈広島別院開基 教如上人の御命日(毎月5日)に法話会があります。〉

道場樹 [編集室より]

先日、本堂を掃除していたところ、一人の婦人が立ち寄りられました。今は都市部に住み故郷に墓参りに来られたそうでした。夫婦二人暮らしで後継ぎがいなかったために今の家や誰も住んでいない実家、それにお墓を今後どうするかを考える日々です、と話されていました。

「中山間地域 増える廃寺」「門徒減・後継者不足」という見出しで新聞各紙が三、四年前に寺の現状を報じていました。報道は、人口減少社会の中で門徒減少や後継者不足が深刻化し、「寺の消滅」がこれから更に加速する可能性も指摘していました。

「多くの人は見たいと欲する現実しか見ていない」という言葉があります。「寺の消滅」という現実、寺を支えてきた多くの人が見たいと欲する現実ではありません。しかし、解決の道は現実を見ることから始まりません。「なぜ寺があるのか、あり続けるために何をすべきか・・・」などを自問する日々です。

(M・M)

真宗大谷派(東本願寺)
広島別院 明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16
Tel 082-241-5342(電話・FAX 共通)

東本願寺 広島別院

検索